

報道各位

『子宮頸がん予防の日』共同メッセージ

子宮頸がんの啓発に向けて活動する4つの団体—子宮頸がん征圧をめざす専門家会議・NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会・社団法人ティール&ホワイトトリボンプロジェクト・財団法人日本対がん協会は、子宮頸がんによって日本女性の命と幸せが奪われないように、あらゆる立場の人が子宮頸がんについて正しく理解し、実践することをめざして、以下の共同メッセージを発表いたします。

2010年4月2日

共同メッセージ：子宮頸がんは、検診とワクチンで予防できる

すべての国民のみなさまへ

- 子宮頸がんは、女性なら誰にでも起こりうる病気です。
- 子宮頸がんは、検診によって、がんになる前の段階で発見できます。大人になったら、検診を受けましょう。
- 女性にとって素晴らしい医学的進歩である子宮頸がん予防 HPV ワクチンが産婦人科や小児科、内科などで接種できるようになりました。
- 子宮頸がんになっても、十分な治療を受け自分らしく生きることができる社会を実現するために、ご協力ください。

医療関係者・行政の方々へ

- 子宮頸がんの原因のほとんどは HPV（ヒトパピローマウイルス）であり、子宮頸がんは予防できるがんです。
- HPV ワクチンの国費による公費負担の実現を提言します。
- 細胞診と HPV 検査を用いる、精度が高く費用対効果にすぐれた検診制度の確立を提言します。
- 子宮頸がんに関する一般への啓発、学校での健康教育が必要とされています。
- 子宮頸がんの適切な治療情報を普及し、全ての患者さんが適切な治療を受けられる社会を実現しましょう。